

THE  
DESIGNS OF  
YOSHIDA  
SHOYA

Imagining the Future  
with the New Mingei Movement

吉田璋也のデザイン

新作民藝運動がめざした未来

2026.10.15 | 木 - 12.20 | 日

休館日：水曜日（ただし12月16日は開館）

開館時間：午前10時～午後6時（ご入館は午後5時30分まで） \*11月6日(金)・12月4日(金)・18日(金)・19日(土) は午後8時まで開館（ご入館は午後7時30分まで）。

主催：パナソニック エレクトリックワークス株式会社 パナソニック汐留美術館、NHK、NHKプロモーション

制作協力：NHKエンタープライズ中部 特別協力：鳥取民藝美術館 後援：港区教育委員会

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留美術館

# 吉田璋也のデザイン

## 新作民藝運動がめざした未来

今から約100年前、柳宗悦らによって「民藝（民衆的工藝）」の理念が提唱されて以来、その精神に共鳴した民藝運動は全国各地に広まっていきました。「民藝」は、今日では言葉として定着するとともに、ライフスタイルを見つめるキーワードとして、新たな関心を呼び起こし続けています。本展では、柳宗悦と同時代を生き、思想を継承しながら、先駆的な生活文化運動を展開した鳥取の医師、吉田璋也（1898-1972）の活動に光を当てます。

吉田璋也は本業を耳鼻咽喉科の医師としながら、新しい民藝のデザインから、プロダクトの生産・流通・販売の仕組みづくりまで、“民藝のプロデューサー”として多彩に活躍しました。鳥取で医院を開業した1931年以降、地元牛ノ戸焼の再興をはじめ、陶磁器・木工・金工・染織・和紙などの分野で職人たちと協働し、「新作民藝」の試作と普及に尽力します。柳が提起した美の標準に基づき、伝統的な手仕事を起点に現代の生活にふさわしい日用品をデザインする吉田の「新作民藝運動」は、販売拠点としてのたくみ工芸店や、蒐集品を展示する鳥取民藝美術館とともに具現化し、鳥取砂丘や仁風閣など地域の自然環境や文化財保護も射程に展開していきました。

吉田璋也が手がけた「新作民藝運動」の軌跡とエッセンスを、吉田自身がデザインを考案した作品や、関連資料など、総計約300点により見つめます。吉田の民藝の実践が息づく建築空間、「旧吉田医院」および「旧吉田璋也自邸」の一部再現展示もお楽しみください。

**【入館料】** 一般：1200(1000)円 | 65歳以上：1100(900)円  
大学生・高校生：700(500)円 | 中学生以下無料

\*（ ）内は前売料金：ウェブサイト限定販売 有効期間10月15日(木)～11月27日(金)  
\*障がい者手帳またはミラロIDをご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。  
◎11月28日(土)～12月20日(日)の土・日・祝日は日時指定予約をお願いします（平日は予約不要）。  
当日空きがあればご入館いただけます。混雑状況により入館方法が変更になる場合がございます。  
最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

### ■ 記念講演会「吉田璋也—民藝をデザインするということ」

2026年10月24日(土) 午後2時～4時

講師：木谷清人氏（公益財団法人鳥取民藝美術館常務理事、本展監修者）  
会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール 定員：150名（要予約）

### ■ トークショー「新作民藝—進行形のデザインプロジェクト」

2026年11月3日(火・祝) 午後2時～4時

話し手：柳井友一氏（secca inc. Chief Creative Officer 取締役、デザイナー、巧藝士）  
石崎泰之氏（岐阜県現代陶芸美術館館長、本展監修者）  
会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール 定員：150名（要予約）

**申込方法：9月1日(火)よりオンラインでの受付を予定しています。**

**詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。**

\*聴講は無料ですが、本展の観覧券（半券）が必要です。\*予約は先着順、定員になり次第締め切ります。  
\*定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。\*未就学児はご遠慮ください。

### ■ 当館学芸員によるスライドトーク

10月31日(土)、11月15日(日)、12月12日(土) いずれも午後2時～2時45分

会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール  
先着50名、予約不要、聴講無料（ただし本展の観覧券（半券）が必要です。）

### ■ ステッカープレゼント

吉田璋也（よしだしょうや）の名前にちなみ、会期中の4のつく下記の日程にご来館いただいた方へ、本展オリジナル・ステッカーをプレゼントいたします。各日先着200名様。

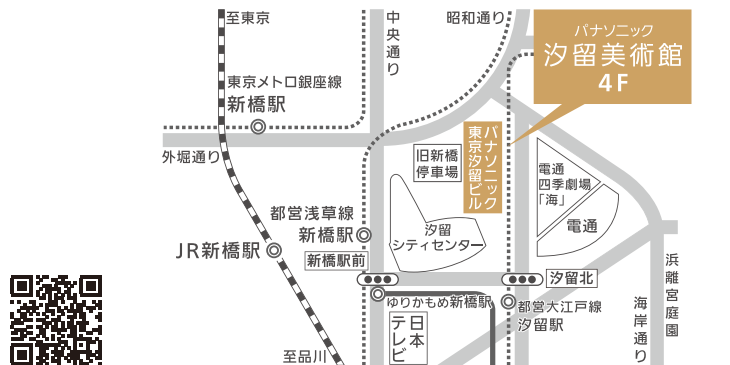
10月24日(土)、11月14日(土)、11月24日(火)、12月4日(金)、12月14日(月)

### ■ 静嘉堂文庫美術館との相互割引

当館「吉田璋也のデザイン」展半券で、静嘉堂文庫美術館「民藝SHOCK!! 一没後60年 静嘉堂の河井寛次郎」展（9月5日(土)～11月8日(日)）の入館料（一般のみ）200円引。  
また同展半券で当館入館料も割引（一般200円引）。\*他割引併用不可

**【同時開催】** ルオー・ギャラリーにて、当館所蔵のルオーコレクションの中から作品を展示しております。  
**【次回予告】**「スウェーデンのうつわ グスタフスペリのある暮らし」2027年1月16日(土)～3月22日(月・祝)

表.《患者用診察椅子》吉田璋也デザイン 1952年 個人蔵 1.《医師用車輪付椅子》吉田璋也デザイン 1952年 個人蔵 2.《木障地間描織文夜着衣》鳥取県 18-19世紀 鳥取民藝美術館蔵 3.《丸傘電気スタンド》虎尾政次、吉田璋也デザイン 1930年代後半 鳥取民藝美術館蔵 4.《竹ショルダーバッグ》吉田璋也デザイン 1950年代前半 個人蔵 5.《雑誌「アダム」第2年 第1号》神沼（武場）隆三郎編、岸田劉生表紙美術、アダム社 1920年2月 鳥取民藝美術館蔵 6.《くにぐりネクタイ》吉田慧代ほか、吉田璋也デザイン 1931年 鳥取民藝美術館蔵 7.《緑袖黒染分皿》牛ノ戸焼、吉田璋也デザイン 1931年 鳥取民藝美術館蔵 8.《北京の天壇》バーナード・リーチ エッチング 1916年 個人蔵 © The Bernard Leach Family. All rights reserved, DACS & JASPAR 2026 E6379



### パナソニック汐留美術館

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階

お問い合わせ：ハローダイヤル 050-5541-8600 <https://panasonic.co.jp/ew/museum/>  
【交通のご案内】・JR「新橋」駅より徒歩約8分・東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分・都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分